

全国学力・学習状況調査 南相馬市調査結果（令和7年度）

全国・福島県・市内小学6年生の平均正答率(%)

国語・算数・理科（平均正答数/設問数）

	国語	算数	理科
全国	66.8	58.0	57.1
福島県	65	55	56
南相馬市	61	56	52

南相馬市立原町第一小学校 全国学力・学習状況調査分析

1 実施日 令和7年4月17日(木)本体調査

2 調査対象 第6学年児童(43名)

3 調査内容 (1)教科に関する調査(国語、算数、理科)

(2)学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

4 調査結果

(1)教科に関する調査(○成果 ●課題)

国語科

- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができていました。
- 話す・聞く問題において、情報と情報の関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題が見られました。

算数科

- 数直線を活用して分数を表す問題や、異分母同士の加法の問題ができていました。
- 図形の面積や単位分数の求め方を式や言葉を用いて記述する問題に課題が見られました。

理科

- 実験の結果から考察することがよくできていました。
- 実験の内容や考察を読み取り、条件に当てはまるなどを記述することに課題が見られました。

(2)児童・生徒質問調査(○成果・●課題)

- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。
- PC、タブレットなどのICT機器を活用することで友達と考えを共有したり比べたりしやすくなりましたか。
- 地域の大人に授業や放課後などで、勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることができますか。(習い事は省く。)
- 新聞を読んでいますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、記述式の問題に課題が見られました。本校では、今後、次の点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 話し合う学習場面では、話し手と自分の考えを比較して、共通点や相違点を整理したり、共感・納得した考えを取り入れて自分の考えをまとめたりする活動を取り入れます。
- ・ 見いだした図形の性質などについて図と言葉を関連付けながら説明するなど、言葉や式、図、数直線などを関連付けて考えを表現する活動を積極的に取り入れます。
- ・ 理科の実験において、児童が問題を見いだし、課題を設定する場面を重視した授業を行います。
- ・ 各教科において、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、新たな考えに気付いたりすることを通して、より質の高い授業を行います。

6 保護者の皆様へ

児童の学習環境・生活環境作りについて、次の点でご協力ををお願いいたします。

- ・ 情報機器を使う時間やマナーなど、家庭でのルール作りと積極的な声かけをお願いします。
- ・ 目的意識をもたせた自主学習を今後も継続していきますので、家庭学習の手引きを参考に、家庭学習の習慣化と励ましの声かけをお願いします。
- ・ 児童が様々な形態の文章に慣れ、読み取る力をさらに高めるためにも、新聞や情報誌、物語などを読んで、家族で話題にする場づくりをお願いします。